

令和6年度病害虫発生予察注意報第9号

令和6年10月4日
愛知県

作物名：野菜類、花き類、ダイズ
病害虫名：シロイチモジヨトウ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) フェロモントラップの8月第6半旬から9月第5半旬までの総誘殺数
 - ・長久手市（露地畑ほ場）634頭（平年119.8頭、前年624頭）で、過去10年間と比較して最も多い。
 - ・田原市（キャベツほ場）1,211頭（過去5年平均647.6頭、前年705頭）で、過去5年間と比較して最も多い。
 - ・豊橋市（ハクサイほ場）2,095頭（過去7年平均1,457.3頭、前年3,030頭）で、過去7年間と比較して2番目に多い。
 - ・西尾市（ダイズほ場）1,340頭（過去5年平均978.4頭、前年1,330頭）で、過去5年間と比較して2番目に多い。

（参考）フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数（図1）

- (2) 9月下旬にキャベツほ場で実施した巡回調査（10地点20ほ場）において、本虫の寄生株率は7.85%（平年1.49%、昨年3.30%）で過去10年間と比較して最も高い。
- (3) 10月3日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は、高いと予想されており、本虫の発生に好適な条件である。

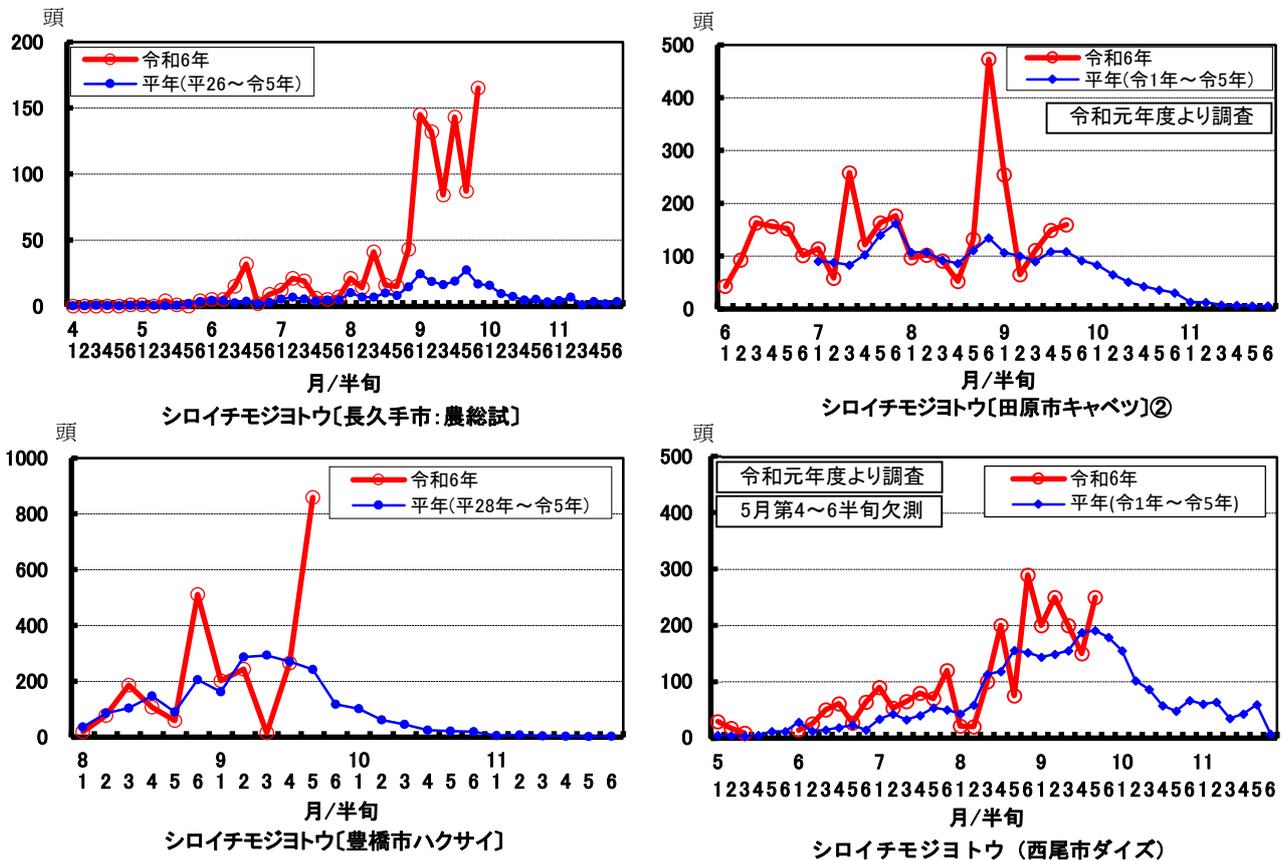


図1 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

4 形態及び発生生態

成虫は暗灰褐色、体長約 12mm の蛾で、前翅の中央部に黄褐色の円形斑紋がある（図 2）。卵は黄褐色、約 0.5mm のまんじゅう型、卵塊で産卵され、表面は灰褐色の毛で覆われる。幼虫の体色は多様で、緑色から黒紺色まで個体差が大きい。老齢幼虫になると、腹部の側面の線が白く明瞭になり、気門線の腹縁部が桃色を呈し、体長約 30mm となる（図 3）。

ふ化後しばらくは集団で生息し、齢が進むにつれて次第に分散する。成虫は 4 月から 11 月頃に、年 4～5 回発生する。非常に広食性で、キャベツのほか、ハクサイ、ダイコン、ネギ、ハウレンソウ、ダイズなど、50 種以上の野菜類や花き類におよぶ。



図 2 成虫



図 3 老齢幼虫

5 防除上注意すべき事項

- (1) 分散前の幼虫の集団や卵塊は、見つけ次第捕殺する。
- (2) 齢の進んだ幼虫には薬剤効果が低下するため、若齢幼虫のうちに防除する。
参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)
- (3) 一部の薬剤に対して感受性が低下している事例が確認されているため、異なる系統でのローテーション防除を徹底する。
- (4) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。
- (5) ほ場内及び周辺の雑草は増殖源になるため除去する。

6 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513